

# 青森県現代俳句協会会報

## 第36回県下深浦俳句大会のあらまし

日時 平成29年10月7日(土)  
場所 深浦町役場文化ホール  
当大会は本協会が本年も後援しており、協会員も多数参加しております。  
結果については、協会員と協会長賞のみをお知らせします。



総合順位 第7位 中村しおん(十和田)  
兼題 1位

青森県現代俳句協会会長賞 坂本りき(深浦)  
兼題 A 「夏季雑詠」 高 points

智恵子の空欲しくて外サングラス 森下 睦子  
席題 「新酒」 日野口 晃 選  
秀逸 政権がどう変わるうと新酒酌む 中村しおん

### 「句帳」 能登谷明子 選

天位 句帳手に紅葉の海潜りけり 浜田 十三  
地位 白神や句帳に留める秋の声 南 美智子  
秀逸 かまどうま跳ねて句帳を翳らしる 松宮 梗子

### 小野 寿子 選

地位 草の絮余白ばかりの句帳もつ 鳴海 顔回  
秀逸 針箱にのぞく句帳やななかまど 三浦星津女

### 対馬 迪女 選

天位 白神や句帳に留める秋の声 南 美智子  
人位 秋霖や古き句帳に師の一句 中村しおん  
秀逸 句帳一冊いまだ埋まらぬ秋の暮 牧 ひろし

## 第57回五所川原市文化祭 県下俳句大会のあらまし

日時 平成29年10月15日(日)  
場所 五所川原市中央公民館  
今年も当大会を本協会が後援し、多くの協会員が参加しました。その結果について、協会員と協会長賞についてご紹介いたします。

総合順位 第1位 徳才子青良、第2位 中村しおん、第4位 泉 風信子、第5位 佐藤いく子、第12位 橘川まもる、第13位 齊藤 泥雪、第14位 南 美智子  
青森県現代俳句協会会長賞 五十嵐カツ

### 兼題 高 points

戦なき空広々と帰燕かな 牧 ひろし  
パイプ椅子畳み夏期講座の終はる 中村しおん  
門火焚く一人に風のやはらかし 佐藤いく子  
席題 「約束」 敦賀 恵子 選

天位 口約束墓標がひとつ芒原 徳才子青良  
地位 お岩木や約束破らず雪来たり 橘川まもる

地位 口約束墓標がひとつ芒原 徳才子青良  
坂本 幽弦 選

### 牧 ひろし 選

天位 就活のもろき約束むかご飯 齊藤 泥雪  
地位 家継ぐと約束の夜稲光 後藤 岑生  
人位 口約束墓標がひとつ芒原 徳才子青良  
人位 コスモスや約束だけの女殖え 福土 光生 選

### 「嫉妬」 草野 力丸 選

人位 秋袷似合ひし人に嫉妬せり 松宮 梗子  
人位 捨てました男の嫉妬と賜の贅 千葉 芳醇  
地位 太腿に嫉妬している枯芒 徳才子青良  
人位 嫉妬心すっぽり包み秋袷 南 美智子

### 高森ましら 選

天位 月光の舌の嫉妬の滑り台 竹鼻瑠璃男  
人位 秋の雨男の嫉妬手に負えず 中村しおん  
人位 葛払い郷社の小山明るくす 齊藤 泥雪  
天位 廃屋の葛の奥にも葛のあり 成田みどり

### 「葛」 泉 風信子 選



**第8回秋の吟行互選  
俳句大会のあらまし**

地位 波の音をたより葛原抜けにけり 南 美智子  
 人位 木漏れ日の葛の葉陰に無縁塚 佐藤いく子  
 天位 葛も枯れ臍の下から行く秋ぞ 橘川まもる  
 人位 葛あらし梗子の梗は桔梗の梗 鳴海 顔回

日時 平成29年10月29日(日)  
 場所 弘前市民参画センター

当日は今までで最多の36名の参加者で恒例の大会を開催しました。この時期は全国的に知られている弘前市主催の「弘前城菊と紅葉まつり」が弘前公園内で行われていました。特に今年が目玉は、写真のおり「リンゴアート」と称して赤りんご(ふじ)と黄りんご(とき)3万5千個を使った、東洲斎写楽の浮世絵「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」を曳城の側に展示し、後ろには岩木山を背負い好評を博していました。参加者はこのアートやまつりの様子を吟行し、大会に臨みました。その結果は以下のとおりです。

**会長賞 「天位」**  
 写楽放つ三万五千のリンゴの香 鳴海 顔回

**「地位」**  
 秋深し与力番屋に蟬の殻 南 美智子

**「人位」**  
 水底に緋の国ありや壕紅葉 南 美智子

**総合順位** 1位 泉 風信子、2位 鈴木とまと、3位 南 美智子、4位 油川 月萌、

5位 松宮 梗子、6位、成田みどり、7位 後藤 岑生、8位 鳴海 顔回、9位 桜田

花音、10位 長尾 青竜

**高得点句**  
 指先も眼もりんご写楽の絵 泉 風信子

花嫁の白際立てる紅葉かな  
 時々は傘の花咲く菊まつり  
 十萬石の秋を見てゐる写楽かな  
 若武者の骨剥き出して菊師かな  
 水底に緋の国ありや壕紅葉  
 菊ひらき胸のふくらむ辰子姫  
 安住か破滅か木の實地に降りぬ  
 菊まつり庵に利休らしき人

鈴木とまと 泉 風信子 松宮 梗子 油川 月萌 南 美智子 後藤 岑生 齊藤 泥雪 長尾 青竜



**現代俳句協会創立70周年記念  
第54回現代俳句全国大会に参加して**

11月23日(勤労感謝の日)に東京の帝国ホテルで催された現代俳句協会創立70周年記念並びに第54回現代俳句全国大会に参加してきた。総勢約600名の出席者があった。青森県からは他に県副会長の牧ひろしさんも出席された。

午後1時開会、宮坂静生会長の挨拶、来賓の挨拶、29年度協会4賞の受賞者表彰(全員女性)、2時から現代俳句全国大会優秀作の披講、表彰が行われた。その中で、特別選者特選句に泉風信子の「白雨来て英霊のみな立ち上がる」の句が高野ムツオ選の特選に選ばれていた。その後、宇多喜代子氏の基調講演、パネリストに夏井いつき、岸本直毅、渡辺誠一郎、小林貴子、神野紗希(司会)



野紗希(司会)でシンポジウムが行われた。その後は、帝国ホテルの美しいディナーの祝賀会でした。(大瀬響史記)

発行所 青森県現代俳句協会  
 発行人 泉 風信子

〒036-1824 弘前市桜ヶ丘一丁目8-11